



羊たちのつづき

平成28年
3月号

発行：
経済同志会シーブクラブ

シーブクラブ創立35周年を迎えて

三陽 代 9 第 年 第



「経済同志会シーブクラブ」創立35周年 誠におめでとうござい
ます。

1980年 佐世保青年会議所の「指導力開発委員会」で出会った野田郁夫初代会長と13名の仲間がシーブクラブを始めました。

記録によれば、5年後の1985年須田尾町に事務局を開設、会員数は53名 例会場を「寿会館（アイトワ）」へ・・・それから35年間、毎月毎月休むことなく「経済同志会シーブクラブ」は続いています。これは歴代会長の卓越したリーダーシップと支えるメンバーのチームワークの賜物だと感謝申し上げます。

私も1985年入会（33歳）以来29年目になります。野田初代会長から誘われ、「寿会館」の例会場の熱気は「ものすごく得をした会に出会った！また行きた

い！」と感じたのを思い出します。シーブクラブの優しい雰囲気は未だに心地よく、異業種の皆様から色んなヒントを学ばせていただいています。

昨年より会長を拝命いたしました。私は任期中に周年事業を迎えるにあたり対外的活動ではなくメンバー間の交流に絞り込み、委員会、勉強会、スピーチ卓話、懇親会など、初心に立ち戻り創立当時に触れる『例会原点回帰』を活動方針とさせていただきます。52名のメンバーを3委員会、どの委員会も大所帯の委員会となりましたが、昨年、今年といずれの委員長さんを始め運営の皆さんがよくまとめていただき、例会、委員会共に出席率は好調に推移してきました。感謝いたしております。

更に今回の創立35周年記念式典には元会員の皆様とも一堂に会する素晴らしい例会になります。連日お世話いただいている35周年プロジェクトメンバーを始め役員のみなさまに重ねて感謝申し上げます。

最後に、私の心に残るお二人からの言葉です！

野田郁夫 初代会長

「経済同志会シーブクラブ」はさ

から「人間図書館」のようです。あなたは、豊富な人材から、何を讀みますか。

故 筒井慶弘 三代会長 作

『経済同志会シーブクラブ綱領』
我々シーブクラブ会員は、本会入会を自己鍛錬の第一歩とし、会を通じ会員相互の力量を高め、変わらぬ友情を培おう。

1988年7月フェス



1987年11月



2001年3月(創立20周年)



1995年6月(創立15周年)



1993年5月(LD道場)



1990年6月(創立10周年)



2006年5月(創立25周年)



2005年クリスマス家族会



2011年5月(創立30周年)



【シーブクラブの歩み】

年月	主な出来事	会長	会員数
1981.2.1	経済同志会シーブクラブ発足	(初代)野田郁雄	13
1985.10	須田尾町に事務局開設		53
1986.5	シーブクラブ旗、シーブバッジ製作		
1986.5	第1回LD道場(一六荘)		
1986.8	第2回アメフェスにシーブクラブ初めて参加		54
1987.11	模擬結婚式勉強会。NHKの全国ネットで放映。		
1990.6	創立10周年記念式典。田中真澄氏講演「成功する考え方」		55
1992.2	ホースクラブとの合同例会(平戸)。東京地検特捜部田中氏講演	(二代)松尾英機	58
1995.6	創立15周年記念旅行(四国松山)		
1996	LD道場(国見山荘)	(三代)筒井慶弘	54
2000.8	創立20周年記念式典(アイトワ)	(四代)木村公康	48
2003.6	LD道場(久住登山)		
2006.5	創立25周年記念式典。小峯忠敏氏講演「熱・生涯チャレンジャー」	(五代)本田福盛	48
2008.2	久々のLD道場復活。一泊二日サバア。	(六代)吉田勝美	52
2011.5	創立30周年記念式典。嬉野グランド鳳陽。	(七代)西山秀樹	48
2011.10	会員拡大例会(玉屋)。朝長市長講演。		
2012.11	ディベート大会、IRIについて激論。	(八代)中田博之	51
2013.3	会員拡大例会。初瀬勇輔氏講演。		
2014.10	市政展望例会。朝長市長と語る。	(九代)牟田陽三	52
2015.7	事務局、大和町に引越し。		
2016.5	創立35周年親睦旅行(予定)。指宿ほか		

例会報告

☆12月クリスマス家族会

クリスマス家族例会を開催させていただきました。

12月13日(日)17時〜20時までホテルオークラJRハウステンボスにて総勢(86)名もの会員をはじめご家族の皆様にご参加いただき、盛大に開催されました。恒例となりました子どもたちへのプレゼントタイムでは、サンタさんに扮した牟田会長とトナカイ?に扮した豊島会員にプレゼントを渡していただきました。おかげさまで楽しい時間となり、この日一番の盛り上がりを迎えました(笑)

また、今年は、初の試みで乾杯の発声の後に、美人ハーブ奏者迎菜保美さんにクリスマスソングを中心に素敵な演奏をいただきました。合わせて子どもたちへの「ミニミニハーブ体験」講座?も開いていただき、和やかなムードとなりました。最後に、ご参加をいただいた皆様、プレゼント提供のご協力をいただいた皆様に心から深く深く感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

サバイバル委員会

委員長 山田朋子



☆1月慶祝例会

1月はアイトワにて慶祝例会が開催されました。

会に先立ちましてアイトワ儀式殿において、白岳神社による古希、還暦の神事が執り行われました。古希(生年月順)西辻松好会員、北村誠吾会員、松本智会員、迫田広義会員、還暦 中田博之会員、村山隆之会員。今回は6名が対象者で、ご祈祷が行われました。

引き続きパーティー会場にて例会、および祝賀会へ。

慶祝者はちゃんちゃんこ姿でご挨拶、記念撮影と進み、和やかな雰囲気での祝賀が続くなか、今年も恒例のアトラクションが登場。ひそかに練習をしていたと思われるモノマネ軍団?による一発芸、歌に、踊りが繰り広げられ、会場内はヒートアップの盛り上がりとなりました。

今年も新年のスタートとなる恒例の慶祝例会は盛況となりました。

ビューティヘルス委員会

山口 貴三



☆2月例会

サバイバル委員会担当例会

2月22日(月)グランドファーストイン 佐世保で長崎県危機管理課 吉田慎一課長においていただき、『防災クロスロードゲーム』を楽しみながら、身近に防災を感じていただき、防災意識を持つていただくことを目的に開催しました。会員28名の皆様に参加いただきました。

講師のプロフィールは、昭和36年4月18日生まれ、B型、佐世保市相浦出身、上相浦幼稚園より組卒園、相浦小学校卒業、相浦中学校卒業、佐世保西高卒業、九州大学法学部卒業、昭和59年4月長崎県庁入庁、平成24年4月〜危機管理課長

クロスロードゲームの内容は、ゲーム感覚で楽しみながら、与えられた想定質問に沿って自分の考えを『YES』『NO』カードをつかいながら表明。このゲームのルールとして、『正解は一つではない。』それぞれの答えを尊重し、グループで議論をおこない、防災知識を深め、防災意識を高めていくことを目的としています。

グループに分かれ、自分が選んだカードがより多くの人も選んでいたら『あめ玉』がもらえ、反対に一人だけがみんなと違ったカードを選んだら、一人だけ『あめ玉』がもらえます。これは『少数意見』を大事にするという考え方から来ています。講師が地元出身ということもあり、質問内容が地元ネタや1月の大雪被害の実話を用いながらの質題となり、身近に防災意識を高めるきっかけになったと思います。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

サバイバル委員会

委員長 山田朋子

